

# たくみ

## 創刊号

No.001

平成5年8月  
信州名匠会

(題字 池田三四郎名誉会長)

### 夜明けを開いていく

私は静岡県清水の材木屋に生まれ、子供の頃から木に接し、毎日製材工場の中で育ちました。木の香りには赤ん坊の時から体感していました。そういうことからこの道へ入ったのですが、建築の設計

#### 会長あいさつ



村松貞次郎会長

は余程図々しくないといけない。人様のお金で家をつくるという図々しいことはできないということから建築の歴史の道へ入りました。

物造りが好きですので、建築の職人さんの仕事に感心があり、大工道具の歴史を調べて、新聞や週

刊誌等にも書かせてもらい、沢山の職人さん達とお付き合いさせてもらい、いままで研究者としての世界に一つしかなかった者が、もう一つ大きな世界を載いたと感謝しています。その中で、近代化は職

人を排除するようになりました。銀座に始まったレンガ造、燃えない建物ということで木造建築を排除することが近代化といわれました。学校建築はついこの間まで木造校舎をなくすのが、学校建築の近代化といわれ、職人さんの仕事をなくすのが近代化でありました。

今、再び職人さん達の仕事が再確認され貴重な存在であります。又改めて世界の経済大国になり、豊かさを追求していく中で、職人さんの仕事とがキーポイントになっていくのではないかと、明るい未来がくると思います。この会は時代の先駆けで、名匠を保存するというだけでなく、信州が近代建築の夜明けを飾った開智学校があるように、今度再び夜明けを開いていくこの名匠会に期待します。

もう一つ、沢山の職人さん達とお付き合いの中で、まれに幸せそうな顔をしている職人さんが、必ず後継者が居ないと話をしだすのです。名匠の皆さんの後継者をつくるために期待をしています。

(設立総会対談より)

#### 原稿募集

毎月1回皆様との情報交換の場として、「たくみ」を発行します。

情報・提言・エッセイ・写真・スケッチ等お送り下さい。

### 全国で初の職人の会

### 信州名匠会「たくみ」発行!!

## 日本中にインパクトを与える

去年まで日本建築学会の理事で伝統技能保存検討委員会の担当委員をしていました。そこで課題になったことですが、つまり伝統技能をただ保存しようとしてもだめ、これまで近代建築というのは、工業化のために、職人さんをなくそうと

だ声大きくしゃべるということではなく、実質的な物の流れで、きちんと出来れば、それは良い情報発信となります。皆さんも多分、お感じになっている以上にインパクトがあるのではないかと感じとられていると思います。

### 発刊にあたって



馬場璋造

いう努力を一生懸命してきた。これが大間違いで、いくら保存してもだめであり、建築家が使える様にし、建設会社も使う。そうすれば自然に保存できて行くということでした。現在そういう時代にきています。村松先生も昔からおっしゃって

うまくいくには情報をはっきり把握し、情報を認識しなければいけません。それを情熱を持って行うのです。

情報は情けがつく、情のある情報化社会の大変すばらしいことが、今日出発した、という認識で伺わせていただきました。今日の名匠会発足は、いい形で伝家していくのではないかと思います。

(設立総会対談より)

ます。これからどう進めていくかです。

4、5年前から宮本さんに、名匠会の話聞いて、すばらしいことだと感じており、今日も喜んで参上しました。これは皆さんが思っている以上に、日本中にインパクトを与えたいと思います。情報化時代に情報発信と言いますが、これはた

### 名簿作成

会員の名簿を作成します。別紙の要項への書込みをお願いします。

タテ3cm、ヨコ2.5cmの本人の顔写真1枚(最近の)を同封して下さい。

### 第2回研修会

9月8日(水)6:30~8:30

「名匠会の方向をさぐる」

場所=宮本忠長建築設計事務所・緑艸舎

# 第1回総会開催 信州名匠会設立総会

この4月26日(月)長野市の御本陣藤屋において、信州名匠会設立総会が開催されました。



「職人立県として信州の夜明を期待したい」  
会長に選出された村松会長

名誉会長に長野県民芸協会  
会長池田三四郎氏  
会長に明治村館長東京大学  
名誉教授 村松貞次郎氏

総会後の座談会



「豊かさを追求していくなかで、職人の仕事は今後キーポイントになる」  
「この会が情報の発信基地として、大きなインパクトを与える」

## 第3回研修会

第3回研修会を下記の通り開催します。

日時 平成5年10月に開催の予定  
講演 谷資信 早大教授

## 会費納入のお願い

個人会員 年会費 金 6,000円  
賛助会員 入会金 金20,000円  
年会費 金30,000円  
以上を右記の口座へお振込み下さい。

長野信用金庫 柳原支店  
普通0084782  
信州名匠会事務局 溝端利一

### 名匠会発足にあたり

岩野商会室内装飾の原と申します。信州名匠会を発足する為の発足準備委員会より、委員として宮本設計様の推薦を頂き、準備委員会に出席をさせて頂いておりました。4月26日に設立総会が行われ、名誉ある先生方をお招きし、又先生方には名誉会長、会長顧問に心よく引受けて頂きまして発足できました事に感謝致します。これからも会の発展の為頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

副会長 原 誠(岩野商会)

去年の6月頃宮本先生より「職人のロータリクラブ的な会(匠会)を作りたいとの強い要望と同時に、21世紀にむけての名匠を集めて研修会etcを開きたい」と熱っぽく話されました。

溝端常務と二人でお聞きしまして、下段取りをしようという事になりましたが、言うはやすく行いはがたしの言葉通り、なかなか前に進みませんでした。それでも少しずつではあるが、何とか路線を引いてまいりまして、4月の設立総会にこぎつけました。本当に皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。今後1人でも多くの名匠の皆様方が入会され、益々隆盛になるよう頑張りたいと存じます。よろしくお願い致します。

専務 坂田守夫(坂田工業)

私と「名匠会」との出逢いは今から10数年前を思い出します。当時私共は長野市立博物館の工事を担当しており、折にふれ宮本先生から名匠会の構想をお聞きした記憶があり、その想いが実現したことは私の喜びの1つとなりました。

理事 大庭 修(トライアン)

わが国にも長く「職人文化」の灯を承継した歴史があります。

消えかかったその灯を護持することが「匠」に課せられた責務の一つです。

監事 小野由隆(甲州屋)

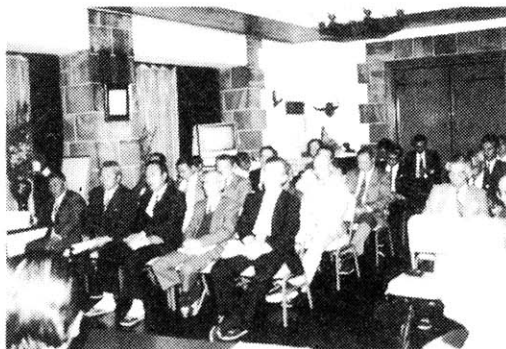
## 座談会



左から 宮本忠長 馬場璋造 池田三四郎 村松貞次郎 笹川明



会員から質問も一。





降幡広信の各氏



懇親会の席



ごあいさつをする馬場璋造氏



笹川明氏



団体・民間

建築現場の第一線で活躍する職人さんの横のつながりを深めよう... 信州名匠会が4月26日、長野市で発足した。

職人の「ワザ」で質向上

信州名匠会が発足

近代化と合理化の一途をたどる現代の建築様式... 昔から地域に受け継がれてきた職人の技は衰退しつつあるのが実情...

人を中心に、建築家、サブコン、学識経験者など四五人程からなる。発起人の代表として冒頭あいさつに立った建築家の宮本忠長氏は「設計の立場から、以前(この)のような会の必要性を訴えてきた。建築は職人をかいてこそ成り立つが、この会を通じて社会的思想を高め、技術レベルアップを図ればは...



会長に選出された村松貞次郎氏



総会後に行われた座談会。「これからは職人がキーポイント」

と述べた。当日は会の規約のほかから年度事業計画としての講演会、研修会の開催の名前の会、研修会の開催の名前の会、研修会の開催の名前の会、研修会の開催の名前の会...

「このまな会は国内では初めてだろう。技術を興、職人立派にして、信州の夜明けと期待したい」とエールをおくった。総会に引き続き、宮本氏の同会で、池田名義会長、降幡廣信氏(降幡設計)、顧問の笹川明氏(信大教授)、馬場瑞造氏(建築情報システム研究所)らによる座談会が行われた。

職人の技のすばらしさについては、次のような指摘もあった。「古い民家の柱などをみると木が張りかじれる。『こんなはずじゃない仕事をしてもらいたい』と」

信州名匠会設立

宮本忠長氏の呼びかけのもとに、建築全般に携わる優れた技能者や建築工芸技術者の経済的な保証と、社会的地位向上を目指した「信州名匠会」が発足した。4月26日の設立総会では初代会長に村松貞次郎氏、副会長に宮本忠長氏、降幡廣信氏、顧問に池原義郎氏や近江栄氏、馬場瑞造氏らがそれぞれ選出された。

今後の活動としては、建築物の質の向上に役立てるための施策の実施、会員の資質および技術の伝承並びに技術の育成に関する施策の実施、技術とその組織に関する法制の調査、研究、建築行政および関係組織への協力や提言、機関誌の発行、図書刊行および資料の収集などが予定されている。会員は個人会員と賛助会員からなり、入会には、会員ひとり以上の推薦を受けた上で理事会の承認が必要となる。今のところ会員は長野市周辺の建築家がほとんどだが、今後、全県に広がっていく予定。



tel(0262)41-5510

新築 6月号

1993年(平成5年)5月20日 本報日 反響が続々「信州名匠会」 後継者育成に職人連帯 年内100人超す勢い 研修や講演で活動

この人 見習い職人支援の場に 「信州名匠会」の発起人 建築設計業 宮本 忠長さん

朝日新聞 6月12日

1993年(平成5年)5月6日(木曜日)

「信州名匠会」が発足 宮本忠長氏の肝いりで

経済的保証と地位向上へ

長野県を中心に活動している建築家宮本忠長氏(57)が、建築家としての肝いりで、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。



宮本 忠長氏

腕	の	い
建	築	職
み	な	な
集	ま	れ

「信州名匠会」の発足式。宮本忠長氏が、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。

宮本忠長氏は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。

職人名簿を作成、各組織へ紹介

「信州名匠会」が発足した。宮本忠長氏が、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。

実務情報の交換と育成を

信州名匠会の活動。宮本忠長氏が、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。

建設通信新聞

1993年(平成5年)4月27日(火曜日)

信 濃 毎 日 新 聞

信州らしい景観 職人の技で

大工さんや塗装、型枠職人、設計士ら建築現場の一端で働く人が、情報交換を通してそれぞれの持ち味をアピールしようとする。信州らしい景観を築いていくため、伝統的な建築工法を守り、知名度を上げていく考え、会員はまた市周辺の建築家がほとんどだが、今後、全国に広がっていく。

「名匠会」旗揚げ

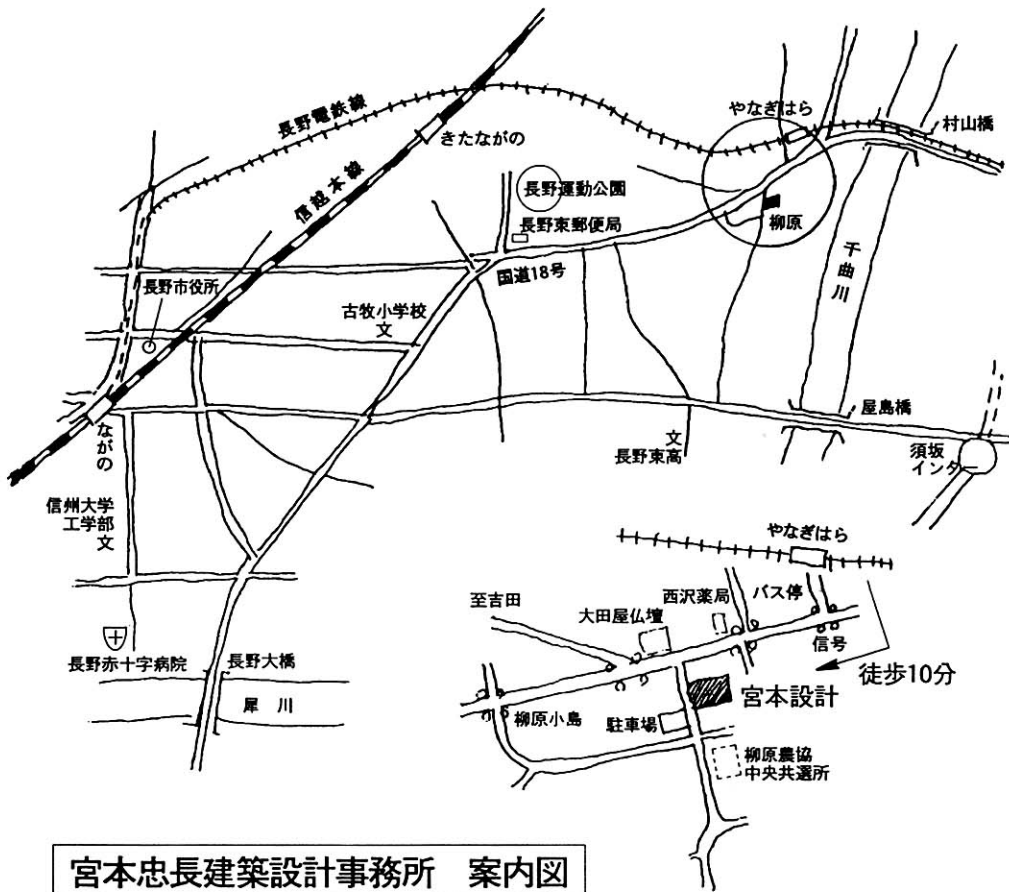


名匠会発足式の様子。信州名匠会発足式の様子。信州名匠会発足式の様子。

横の連携 持ち味アピール

信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。信州名匠会は、建築家としての心算を、信州名匠会に託す。

# 緑舎へ



宮本忠長建築設計事務所 案内図

- 名誉会長  
池田三四郎  
(長野県民芸協会会長)
- 会長  
村松貞次郎  
(明治村館長)
- 副会長  
宮本忠長  
(宮本忠長建築設計事務所代表)
- 井内八雄  
(井内工務店代表)
- 原誠  
(岩野商会副社長)
- 降幡広信  
(降幡建築設計事務所代表)
- 専務  
坂田守夫  
(坂田工業代表)
- 理事  
池内信二  
(タキザワ・ホーミング営業部長)
- 大庭修  
(トライオン取締役)
- 岡沢元彰  
(本久建築部長)
- 坂本東洋治  
(角藤管理部長)
- 監事  
小野由隆  
(甲州屋専務)
- 伊沢和馬  
(長野県建設工業新聞社社主)
- 顧問  
池原義郎  
(早大教授)
- 近江栄  
(日大教授)
- 笹川明  
(信州大教授)
- 馬場璋造  
(建築情報システム研究所主宰)
- 市川健夫  
(信州短大学長)
- 事務局  
新井庄市郎  
(長野県建設工業新聞社専務)
- 溝端利一  
(宮本忠長建築設計事務所専務)

## 募集中

### 「書院造りの源流を京都にさぐる」

次の概要で調査・研修視察を行います。濃密な内容でありますので  
ふるってご参加下さい。

と き＝11月18日(木)～20日(土)

参加数＝30名(限定)

費 用＝200,000円

講 師＝中村昌生京都工芸大名誉教授

「書院造り考え方と現代和風建築について」

コーディネイター＝宮本忠長氏、降幡廣信氏

主催・問い合わせ＝長野県建設工業新聞社

TEL 0262-34-1115(代) 担当・春日

## 危くみ No.001 (信州名匠会ニュース)

平成5年 月 日発行  
 発行者 信州名匠会会長 村松貞次郎  
 編集者 岡澤元彰 新井庄市郎  
 連絡先 ㈱宮本忠長建築設計事務所  
 事務局 溝端利一 〒381 長野市柳原1875-1  
 TEL 0262-41-5510 FAX 0262-43-0187